



*Seven Generations*

---

# 2023(令和5年)年度 活動報告書

2024年2月

特定非営利活動法人セブン・ジェネレーションズ



# セブン・ジェネレーションズ(SG)とは？ : Mission & Value

## Mission

わたしたちは、持続可能で公正な未来を実現するために、目覚め続ける世界市民のコミュニティを育みます。

## Value

### 1. 人

この活動に参加するすべての人を尊重します。そして参加しないすべての人も尊重します。目指すビジョンを実現するのは人。かけがえのない人と人がここに集い、この活動がはじまりました。

### 2. つながり

すべての存在とのつながりを感じます。自分につながるすべての人。生きとし生けるもの。身の回りにある道具。自分が食する食べ物。そして地球。すべてのものとのつながりに思いを馳せます。

### 3. 対話

心を開いて対話することを実践します。お互いの心の中にある声に耳を傾け、お互いの人そのものに興味を持って言葉を紡ぎ合います。

### 4. プロセス

プロセスを大切に扱います。今、そこに葛藤があったとしても、プロセスを丁寧に踏むことで未来への智慧が見つかります。そしてその智慧の中から結果が自ら姿を現すことを信じます。

### 5. オープン

この活動の場はすべてオープンなスペースです。つまりこの場への出入りは自由であり、安心してそれぞれの想いに沿って活動・発言ができる自由があります。そして、この場にある智慧、情報、出来事は場の外に向けても開かれています。

### 6. 問い

常に問いを持ち続けます。言葉を手にした瞬間から「思い込み」がはじまります。さらに問いを持ち、言葉を更新し続けること。言葉にならないものに問いかけ、言葉にしていくことに挑戦します。

### 7. 体現

わたしたちは、わたしたちの願いを体現する集まりです。外に求めるだけでなく、謙虚に自分達のビジョンを自分達で示すことを意図して活動します。



# セブン・ジェネレーションズ(SG)とは？ : 設立趣意書

## 【設立趣意書より抜粋】

私たちは、引き続き、すべての人が環境的に持続可能で、公正で、精神的に充足して生きる社会が同時に実現されるものであるということを、より多くの人々が理解し、意識や行動の変化を促すために、社会教育事業、人材育成助成事業、普及啓発事業、研究調査事業など各種の事業を行い、  
智慧と力を合わせ、七世代先まで持続可能な市民社会を実現しようとしています。

「速く行きたいときは一人で行け、遠くへ行きたいときはみんなで行け」というアフリカのことわざがあります。私たちが実現しようとしている世界は、容易に実現できるものでなく、遠い目標であるかもしれません。しかしゆっくり進んでいく余裕もありません。私たちは「速く、遠くまで」行かなければならないのです。

▼特定非営利活動法人セブン・ジェネレーションズ 設立趣旨書 (全文は [こちら](#))





# セブン・ジェネレーションズ(SG)とは？ : 私たちは何者か

NPO法人セブン・ジェネレーションズ、法人化10周年の節目の年において、しっかりと組織の目的を握り直して進んでいくため、「私たちは何者か」ということをまとめました。

## ★なんのために存在しているのか(WHY)

NPO法人セブン・ジェネレーションズは「地球上のすべての人が、環境的に持続可能、社会的に公正で、精神的にも充足した生き方を実現する」ことを目指しています。

## ★どのように目的を達成するのか(HOW)

社会に大きな変化を創り出すために最小限必要な人の数(クリティカルマス:人口の3.5%)の「ゲームチェンジャー(社会変革の担い手)」が誕生し、つながりあうことで、目的が実現すると考えています。

## ★何をするのか(WHAT)

私たちは、提供している教育・啓発プログラムを通じて、目的の実現を担う「ゲームチェンジャー」とそのつながりを、統合的に育んでいきます。



# 目次

## I. 基幹事業

### 社会教育事業

- ・ チェンジ・ザ・ドリーム シンポジウム … 9ページ
- ・ ゲームチェンジャー・インテンシブ(GCI) … 10ページ
- ・ プログラム・フォー・トランスフォーメーション(PT) … 11ページ
- ・ コミュニティ気候アクショントレーニング(ICCAT) … 12ページ
- ・ 「アチュアルの夢」自主上映会 … 13ページ

### 人材育成事業

- ・ DEEP … 15ページ
- ・ ケアテーカー(GCIお世話係サポート)チーム … 16ページ

## II. コミュニティを育む

- ・ セブン・ジェネレーションズ主催:  
コミュニティコール/コミュニティミーティング … 18ページ
- ・ コミュニティメンバーの活動 … 19ページ



# 目次

## Ⅲ. セブン・ジェネレーションズのプロジェクト・イベント

- ・ 理事選定プロセス、理事選定委員会 … 21ページ
- ・ 企業・大学・他団体展開プロジェクト … 22ページ
- ・ 広報・啓発イベント … 23ページ
- ・ コミュニティ気候アクションコンソーシアム … 24ページ

## Ⅳ. 運営

- ・ 2022年度通常総会 … 26ページ
- ・ 理事ミーティング/退任理事よりメッセージ … 27-28ページ
- ・ 事務局 … 29ページ
- ・ ファンドレイジング … 30ページ
- ・ 広報 … 31ページ

## Ⅴ. 最後に

- ・ 寄付のお願い … 33ページ
- ・ 代表理事メッセージ … 34ページ
- ・ 法人概要 … 35ページ



# I . 基幹事業

## 社会教育事業

- ・ チェンジ・ザ・ドリーム シンポジウム
- ・ ゲームチェンジャー・インテンシブ (GCI)
- ・ プログラム・フォー・トランスフォーメーション (PT)
- ・ コミュニティ気候アクショントレーニング (ICCAT)
- ・ 「アチュアルの夢」自主上映会

## 人材育成事業

- ・ DEEP
- ・ ケアテーカー (GCIお世話係サポート) チーム





# 社会教育事業





# チェンジ・ザ・ドリーム シンポジウム(チェンドリ)



## ●チェンジ・ドリームシンポジウム 10回開催、合計44名参加。

### ■累計5,481名(日本での提供が始まった2008年以降)

●オンライン開催:8回開催、33名参加 ※以下、ファシリテーターの名前のあとの数字は担当回数

・個人主催4回18名、担当ファシリテーター4名(塚田康盛2、島田乃吏佳1、佐藤さわ1、山田ヴァユ1)

・SG主催開催4回15名、担当ファシリテーター7名(鳥谷部愛1、野崎安澄2、高橋安芸子1、小谷真司1、山田ヴァユ1、風かおる1、俵山美絵1)

●対面開催:2回開催、11名参加

・個人主催1回1名、担当ファシリテーター1名(外岡卓之1)、開催地:岩手県1回

・SG主催1回10名、担当ファシリテーター2名(野崎安澄1、鈴木核1)、開催地:[神奈川県逗子市](#)1回

### ■チェンドリ・オンラインコース(eラーニングサイト):受講者37名(合計94名)

■上映会形式チェンドリ:SG主催2回(5/31、8/23)、担当3名(高橋安芸子2、野崎安澄1、竹内朱美1)

■その他:SG主催2回(7/11チェンドリ推しメンバー・推しシーンを語る会、7/24Ver.1オリジナル版を観る会)、担当2名(高橋安芸子2、野崎安澄2)

### ■事務:佐藤さわ、桑原康平

※SG主催チェンドリ事務、オンラインコース対応、チェンドリセット(プレスレット&宣言カードなど)対応

### ■統計記録:明恒次郎

■所感:オンラインコースを6月から無償化したことで受講者が6名(1-5月)から、31名(6-12月)と増加しました。チェンドリをゲームチェンジャー・インテンシブGCI受講の条件にしない運用に昨年度から変更しましたが、GCI参加者の方にはオンラインコース、オンライン開催での受講をお勧めしており、一定数の参加は見込めたのではと判断しています。

また、上映会形式をスタートしたり、コミュニティコールの一環として対話会形式Ver1を観るなど、チェンドリ日本紹介から15年を迎えて、新しい試みもスタートしました。

但し今期は実施数、参加者数ともに過去一番少ない開催となりました2019年に現在のVer.4になり5年経ちました。今後のアップデートを検討する時期に入ってきていると思われます。



プレスレット

### チェンジ・ザ・ドリーム シンポジウム

私は、この地球上に生きるすべての人が環境的に持続可能で、社会的に公正で、精神的にも充足した生き方を実現できるように全力を尽くすことをここに誓います。

署名 \_\_\_\_\_ 日付 \_\_\_\_\_



### 宣言カード



# ゲームチェンジャー・インテンシブ(GCI)

## ◎2023年4月期

参加者計30名(新規13名、再参加17名、お世話係8名)

## ◎2023年8月期

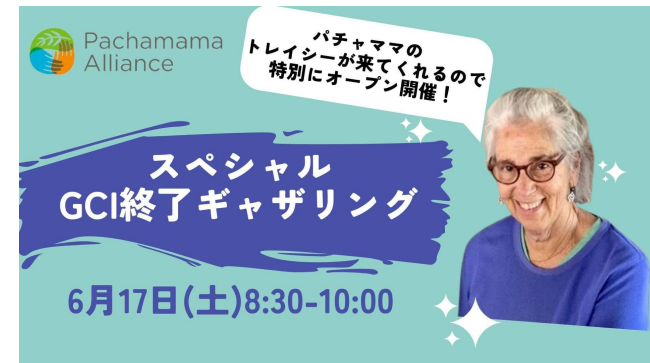
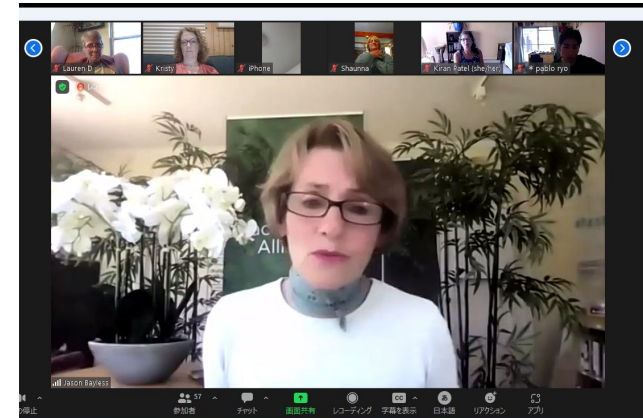
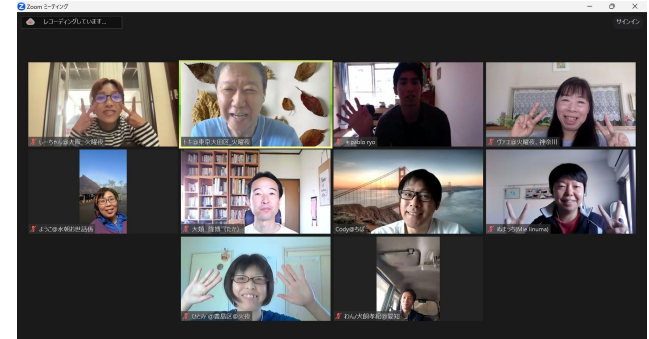
参加者計34名 (新規14名、再参加20名、お世話係8名)

## ◎活動内容

- 4月期より各モジュールに対応した「日々の実践」(日常生活で実践できるアクション)を追加
- 4月期にスペシャルイベントとしてGCI開発者のトレーシーを招いての対話会開催
- 8月期より「日本のユース世代の活動」動画・記事の追加・モジュールNのコンテンツのブラッシュアップと、各モジュールごとにピックアップした記事を掲載
- GCI事務局と参加者の情報伝達向上・お世話係の負担軽減のためにLINEグループの導入
- お世話係(モデレーター)の2人体制継続、及び、お世話係をお世話するケアテーカーチームの常設。スモールグループの質を向上。

## ◎スタッフ

- ・コアメンバー: 犬飼孝紀、國方志津枝、桑原康平、野崎安澄、廣川景俊、山田ヴァユ
- ・事務・会計担当: よしざわひとみ・佐藤さわ
- ・翻訳・通訳協力: 関口守、杉原めぐみ、野崎安澄





# プログラム・フォー・トランスフォーメーション(PT)

2023年8月5日(土)～6日(日)に山梨県北杜市の「わとわの杜」で、「プログラム・フォー・トランスフォーメーション～リニューアルお試し版～」を開催し、参加者2名とコ・リード2名、事務局1名の5名が新プログラムを体験し味わい、今後の本番開催に向けてさらにブラッシュアップしていくことになりました。

セブン・ジェネレーションズは、6年前までチェンジ・ザ・ドリームシンポジウムのファシリテータートレーニングを開催し、参加者がbeingとdoingを見つめ直し、シンポジウムのファシリテーターとして活動できるように後押しすると共に、参加者同士がつながれる機会を提供してきました。

その後、トレーニングは参加者のチェンジ・ザ・ドリームシンポジウムへの理解を深める側面は残しつつ、必ずしもシンポジウムの開催にこだわらず、現代社会が抱える社会課題に取り組む志を持つ人が本当の自分とつながる支援をするプログラム「プログラム・フォー・トランスフォーメーション」へと進化しました。

2023年度にチェンジ・ザ・ドリームシンポジウムを開催したいという思いを持つ人をサポートする新しいプログラム「DEEP」がスタートしたことを受けて、今回の「プログラム・フォー・トランスフォーメーション」では更に参加者の自己変容・これからやりたいことの発見に焦点を絞った新プログラムをお試し版として実際に開催してみました。

ジョアンナ・メイシーの「つながりを取り戻すワーク」の流れをベースに、リード役の一人である宮田恵の「ムーブメント・メディスン」のワークも取り入れて、自然が身近にあり、バックミンスター・フローの提唱したジオデシック・ドームの形状の空間にもパワーをもらって、参加した全員が自身のトランスフォーメーションを体感する場となりました。

## ◎スタッフ

・リード: 宮田恵、小谷真司 ・事務/会計担当: 磨井敦子、桑原康平、佐藤さわ





# コミュニティ気候アクショントレーニング (ICCAT)

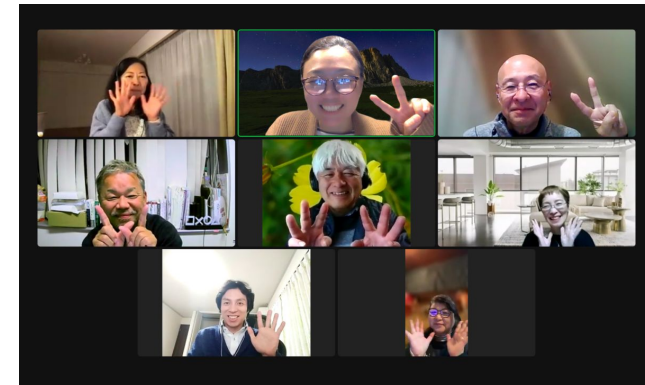
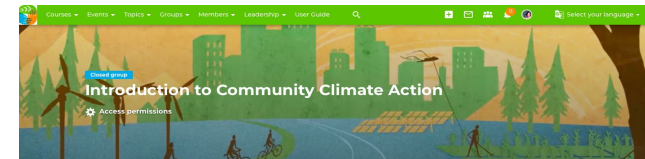
## ●コミュニティ気候アクショントレーニング (ICCAT)とは

- ・10週間で展開されるオンラインコース
- ・気候変動に対するアクション経験のあるモデレーターが付き6名程度のグループ (最大日本では8名)をホールドする
- ・前半はbe-ing(あり方。地球・大地・住んでいる場所とのつながり)、中盤(コミュニティマッピング、ライブ研修セッション)、後半 (you-me-weのコンセプトでのコミュニケーションに基づくコミュニティ内でのそれぞれのテーマの気候変動に対するアクションを実施)
- ・毎週1回のコールでyou-me-weトークの練習・ロールプレイからアクションの報告、そして前半は在り方についての対話を行う
- ・HPは[こちら](#)

## ●2023年度は1月期・9月期を実施しました

2021年度からプロトタイプ(試作段階)ではありますが、10週間におよぶコミュニティ気候アクショントレーニング入門(ICCAT)をスタートし、2023年度は1月期・9月期の2回開催しました。運営メンバー、モデレーターは鈴木核・野崎安澄・桑原康平、トレーニングサポーターは風かおる・半田志野・高崎麻世、通訳は寺社下茜、杉原めぐみ、関口守、俵山美絵、コンテンツ吹き替えは景浦由美子が関わりました。

1月期は12名・9月期は6名の方が参加され、様々な地域レベルでの気候変動解決策につながるコミュニティへの参加、プロジェクトやコミュニティが企画・推進されました。





# 「アチュアルの夢」自主上映会

2016年のアチュアルの村を撮影した映画「アチュアルの夢」は、7年たった今も色褪せていません。改めてなぜかと考えてみると、アチュアル族もちろんこの7年で変化・進化をしていますが、自分たちの暮らしの根本的なところを大きく変えることはしていないからではないかと思えます。アマゾン熱帯雨林の広大な森を守りながら、その恩恵に預かり生きていくアチュアルの暮らしと伝統の中に、私たちが忘れてしまったものを新たに発見することでしょう。

気候変動や世界各地で起こる戦争、自然災害、社会問題など心痛むことが次々と起こるこの世界で、私たちが望む持続可能で公正な未来を創るために、この映画の自主上映会をコツコツと続け、仲間を募っています。2023年度は、8月にパチャママ・アライアンス&アースウィズダムジャパンの日本人向けアマゾン熱帯雨林ツアーもあり、ツアーの参加者の報告会兼自主上映会なども全国各地で行われました。2024年度もいろいろな方とコラボしながら、自主上映会を開催していく予定です。オンライン・オフライン両方で開催することができますので、興味がある方はinfo@sevengenerations.or.jpまでお問合せください。



・スタッフ: 鳥谷部愛、野崎安澄、川田照義 ・事務・会計担当: 桑原康平、佐藤さわ



自主上映会は、以下の手順で開催できます。

- (1) 開催申請をする (<https://goo.gl/forms/6hK4PJCGmlmvPtLv>)
- (2) 開催する
- (3) 開催報告をする (<https://goo.gl/forms/15HNUIVdv7qb1ug03>)
- (4) 参加者(中学生以上) × 500円をセブン・ジェネレーションズへ払う

※ 参加費はご自由にお決めいただくことができます。

※ 注意事項

- ① イベントを立てるとき「自主上映会」とお書きください。
  - ② 「NPO法人セブン・ジェネレーションズ共催」にしてください。
- 詳細はHPをご覧ください。

<https://www.sevengenerations.or.jp/achuar-events>



# 人材育成事業

# DEEP

チェンジ・ザ・ドリームシンポジウムを伝えたい人のためのプログラム  
「DEEP」が9月10日(日)10時から16時に逗子市の小坪公民館で開催されました。

海に見える広々としたスペースで、コ・リード2人とサポート1人、参加者3人と少人数でゆったりとした雰囲気の中、プログラムの一部を再度体験しながら自分が伝える側になったら、という視点でも見てみたり、何度もシンポジウムを開催している人の体験や工夫を共有してもらったりしました。

参加者アンケートには、今日参加した仲間と一緒にシンポジウムを開催します！という宣言もあり、プログラムの狙い通りシンポジウムを届けたいという参加者の背中を押すことができたのではないかと思います。

## ●高橋安芸子さん(コ・リード)感想

2年前に諸先輩方と丁寧に創り上げたDEEPを、初めてリアル開催でき、本当に光栄でした。またリードをしながらも私自身がたくさんの学びを得ることができました。ありがとうございました。

## ●鈴木核さん(サポートメンバー)感想

今回サポートとして参加させてもらいましたが、お二人の進行が初めてとは思えないほどこなれていると感じました。3人の参加者のみなさんとの相乗効果で、とても素晴らしい場になったと思います。参加者のみなさんの今後のチェンドリ開催に期待大です！

## ◎スタッフ

- ・リード: 高橋安芸子、小谷真司、サポート: 半田志野、鈴木核
- ・事務/会計担当: 桑原康平、佐藤さわ





# ケアテーカー（GCIお世話係サポート）チーム

## ●お世話係(モデレーター)のサポート&強化

2023年度もGCIのモデレーターをしてくださる方々向けに、期間中の定期的なフォローアップミーティングを行いました。

今年は須藤美奈子・桑原康平・小谷真司・野崎安澄の4名でケアテーカーチームとしてスタートしました。

GCIの参加者の満足度や意識の変容、継続的なつながりには、モデレーター（お世話係）のみなさんのあり方がとても重要なキーであると考えているからです。

## ★フォローアップミーティング概要

- ・GCI前半はほぼ毎週モデレーターMTGを開催（キックオフから含めて）
- ・後半は2週間に1回
- ・日中・夜の開催、毎回5-7名くらいの方が参加
- ・モデレーターのあり方、守ってほしいこと（社会的公正、ハラスメントetc.）を毎回共有
- ・次週のテーマについて、モデレーター同士の対話・疑問のシェアなどを行う
- ・モデレーターがSGやGCI後のステップを説明しやすいように資料・動画作成







## Ⅱ.コミュニティを育む

- ・セブンジェネレーションズ主催
  - ・コミュニティコール
  - ・コミュニティミーティング
- ・コミュニティメンバーの活動



# セブン・ジェネレーションズ主催： コミュニティコール/コミュニティミーティング



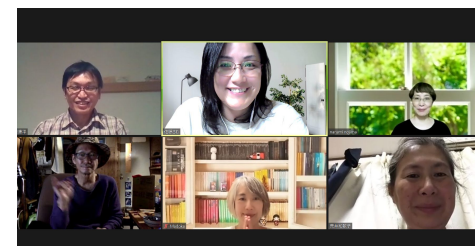
## ほっとコミュニティコール コール事務担当：佐藤さわ、桑原康平

今年のほっとコミュニティコールは、6月までは毎月開催しましたこのオンラインコールは、会員に限らず、SGのコミュニティメンバーのためのコールの場です。また前年度末からは、新しく会員・ファシリテーターになられた方をウェルカムするためのコールも兼ねています。なかなか参加者が増えなかったり参加するメンバーが限られていることから、7月以降は、チェンドリおしゃべり会を試してみるなど、試行錯誤しました。メンバー同士のつながりを作ったり深めたり、メンバーを支えるようなコールの場をどのように作ればいいのか、これからもみなさんと一緒に考えていきたいと思っています。

## パチャママコール

今年もアメリカのパチャママアライアンスとの情報共有のためのパチャママコールを  
通訳付きで年2回行いました。長年パチャママとSGの窓口を担当してくれていたMaisa  
の退職に伴いお別れ会を、新しい担当のAreyhの歓迎会も行いました。

- 司会進行・日程調整 褒岩尚眼・野崎安澄
- 通訳：佐藤ふゆお・俵山美絵・野田浩平・村瀬まどか・関口守





# コミュニティメンバーの活動

## 【コミュニティメンバーが関わっている団体、および活動】

NPO法人トランジション・ジャパン/認定NPO法人ブラーマ・クマリス/森と踊る株式会社/アズワンネットワーク鈴鹿コミュニティ/NPO法人GEN-Japan(グローバルエコビレッジジャパン)/ムーブメント・メディスン・ジャパン/プラネタリー上映会/一般社団法人ワン・ジェネレーション/ジョアンナ・メイシーつながりを取り戻すワーク/VOICE and VOTE/Citizens' Climate Lobby Japan/一般社団法人カンパニア/アース・ウィズダム・ジャパン/ツナトリサロン/『サステナブルスープ』byNPO法人トランジション・ジャパン15周年記念/脱炭素まちづくりカレッジ in 船橋/コーチング体験会 from 広島/夫婦のCross Vision 2023@オンライン/エクアドル熱帯雨林 アチュアル族の叡智に触れる旅/しゅんろう、まゆの“人”と“自然”にやさしい農的対話Vol.4 テーマ:『春だ、土、種、苗?? 私の育てたい野菜とそのコツは??』/超高齢社会体験ゲーム「コミュニティ・コーピング」/森と踊る木こりフェス2023～森を遊ぶ～/Pepe Nummiから学ぶ『イノベーションを起こす対話の場』/『ゼロ・ウェイストPLUS～持続可能な暮らし～』映画上映会/ソイル・ソウル・ソサエティ!“人”と“自然”にやさしい農的対話Vol.5<今回のテーマは「夏野菜!」/未来世代法 クラウドファンディング/ファシリテーションウィーク+(プラス)/「パーマカルチャーと世界の平和@オンライン」/地域探求型ゲームイベント「ロゲイニングカード」in船橋/ヴァンダナ・シヴァ『いのちの種を抱きしめて』オンライン上映&シェア会/アマゾン熱帯雨林の先住民アチュアル族を訪ねる旅の報告会/ソイル・ソウル・ソサエティ!“人”と“自然”にやさしい農的対話Vol.6「土づくり」/インド・ナブダーニャ生物多様性保全農場 地球大学 報告会(サティシュとヴァンダナシヴァから学ぶ旅から)/生成的対話の場コミュニティ(GCBC:Generative Conversation BA Community)】

(順不同)

参照:『新月通信』バックナンバー・ブログ:<http://sg-newmoon.blogspot.com/>



### Ⅲ. セブン・ジェネレーションズのプロジェクト・イベント

- ・理事選定プロセス/理事選定委員会
- ・企業・大学・他団体連携プロジェクト
- ・広報・啓発イベント
- ・コミュニティ気候アクションコンソーシアム





# 理事選定プロセス、理事選定委員会

## 【理事選定委員会】委員：姜咲知子、吉田俊郎、佐藤さわ、桑原康平

弊法人の2年ごとの理事改選について、前回の理事交代時期に実施した方法、すなわち、コミュニティメンバーの自主性を大事にし、広く自薦他薦で公募するという、一見すると公平で民主的に思える方法は、明確に表された意思がない単なる自由に置き換わりやすく、その結果、現代の日本社会で力を持っている男性中心的、年功序列的な社会構造をそのまま反映する結果になったと言えます。これらの反省を踏まえ、どのように理事を選定するのがいいのか、コミュニティメンバーの意見も聞いて検討することを目的として発足しました。オンラインで2回のコミュニティコールを開催したうえで、10月以降、新しく理事になっていただきたい方との個別ミーティングや、現理事との個別ミーティングを行い、理事候補者を選定しました。

### <意図した理事構成>

- ・理事は3人以上10人以内。
- ・理事は過半数を女性とする。
- ・年代は、30代まで、40代、50代以上をそれぞれ同率程度とする。

### <理事候補者(新任⇒重任、五十音順・敬称略)>

角野 仁美、小出 愛菜、寺社下 茜、寺島 義智、犬飼 良成、岩瀬 淑乃、大山 裕之、野崎 安澄

## (参考)委員会規程について

弊法人の2年ごとの役員改選について、2022年の役員改選時より「委員」を置いて検討を重ねてきました。SGの定款には委員会に関する項目がないため、「代表理事が必要と認めて任意に設置した委員会」という扱いと考えていますが、今後も委員会を設置する場合、定款変更も視野に、委員会規程をおくことを今後検討していきたいと考えています。



# 企業・大学・他団体連携プロジェクト

企業・大学等・他団体との連携を進め、営業・コミュニケーションを行いました。

- ・企業担当者向け”IDGsセミナー”開催
- ・IDGs関連プログラム開発のため企業担当者・コミュニティメンバーとのディスカッション
- ・企業向けコンテンツの企画開発中(担当:理事 岩瀬淑乃・大山裕之)
- ・環境教育学会の「気候変動教育」プログラム開発への参加・ [学会発表](#)
- ・株式会社オカムラのイノベーションCuelにて月1回の「 [サステナビリティラボ](#)」開催
- ・CAN-J(気候アクションネットワークジャパン)への加盟と定期的な会議・ [交流会参加](#)
- ・某コンサルティング企業での福利厚生プログラムとしてのチェンジ・ザ・ドリーム シンポジウム検討依頼(落選)
- ・デロイト・トーマツ社内メンバーと「サーキュラーエコノミー部会」の立ち上げ月1回の企画ミーティング継続中
- ・[ローカリゼーションデイジャパン](#) イベント登壇(グローバルエコビレッジネットワーク(GEN)ジャパン等共催)
- ・豊田市SDGs推進課への2024年度ユース世代教育・研修事業提案(検討中)
- ・月1回の「気候コミュニティオーガナイザー共有会」(オンライン)への参加
- ・「ワタシのミライ」への賛同団体加入

詳しくは各リンク先ブログでご確認ください





# 広報・啓発イベント

今年は理事チームを中心にNPO法人セブン・ジェネレーションズの広報・啓発のイベントや登壇などを行いました。

- ・[アースデイ2023@東京・代々木公園出店](#)(NPO法人トランジション・ジャパンと共同)
- ・[『Collective Impact Forum 2023』参加・登壇](#)
- ・[「君の根は。大地の再生にいだむ人々」オンライン自主上映会開催](#)
- ・[【トランジション・タウン15周年イベント】「サステナブルスープ」に登壇](#)
- ・[FMヨコハマ「Baile Yokohama」に理事大山裕之がゲスト出演](#)
- ・[持続可能な社会を願う人あつまれ！トランジションタウン&チェンジ・ザ・ドリーム シンポジウム 15周年記念お祝い&ミートアップイベント開催](#)
- ・[デロイト・トーマツウェルビーイング財団機関紙「コレクティブインパクトがもたらす笑顔」取材](#)





# コミュニティ気候アクションコンソーシアム

●コミュニティ気候アクションコンソーシアムについては[こちら](#)からご覧ください

2023年度はデロイト・トーマツ・ウェルビーイング財団様にいただいた助成金をベースに、コミュニティ気候アクションコンソーシアムリーダーシッププログラムの提供と横断的市民活動団体のネットワークの土台作りに取り組みました

●ネットワーク作りについての具体的な実績

- ・月1回の定期的オンラインでのMTG開催・参加
- ・既存のプラットフォーム(CAN-J)への加盟
- ・各団体のコラボレーションの働きかけ
- ・5月のアースデイ東京に出店・広報と他団体との交流
- ・[7月8日](#)・[12月16日](#)東京にて1日リアル会場としてつながり、ディスカッションを行うイベント「[コミュニティ気候アクション団体ネットワークフォーラム](#)」を開催
- ・終了後アンケートとフィードバックヒアリング会を計6回オンラインで開催
- ・参加団体からの希望を受け、相互コミュニケーション可能なプラットフォームを作成(LINEのオープンチャット)
- ・350.orgジャパンチームのチームビルディング・戦略合宿企画・ファシリテート







## IV. 運営

- 2022年度通常総会
- 理事ミーティング
- 退任理事よりメッセージ
- 事務局
- ファンドレイジング
- 広報





# 2022年度通常総会（2023年2月25日開催）

2/25(土)開催のNPO法人セブン・ジェネレーションズ2022年度通常総会は、正会員67名中14名の出席および39名の委任により、67名の定足数の1/2以上の53名のご参加で成立し、開催できました。

今期は久しぶりに、リアルの会場とオンラインを繋いでのハイブリッド開催となりました。

第1部の通常総会では、

第1号議案:2022年度の活動報告、会計報告、監査報告の審議を行い、可決されました。

総会の司会は角田仁美、議長は会場から選出された岩瀬淑乃、議事録署名人は会場から桑原康平、本橋紀久子、正会員の定足数の確認はオンライン上で佐藤さわ、始まりの儀式は宮田恵が担ってくれました。

総会后、リアル会場では風かおる企画の[2050カーボンニュートラルカードゲーム超短縮ver.」](#)を体験しました。

一人一人が色々な事業を役割として担いがなら、2050年のカーボンニュートラルを目指してがんばりました。しかし、なかなかうまくいかず・・・

その後懇親会へと続き、それぞれのNPO法人セブン・ジェネレーションズ(チェンドリ)との出会いや想いをゆっくりと語り合う時間となりました。

ご参加いただいた皆さん、準備に携わってくださった

皆様もありがとうございます。

詳細はこちらの[ブログ](#)からご覧ください





# 理事会：理事ミーティング

## ＜理事ミーティング：月1－2回＞

2022年度に引き続き「理事 & 事業マネジメントmtg.」という体制で、概ね月1－2回のZOOMミーティングを実施しました。ミーティングでは、事務局や事業にかかわるメンバーから各事業の実施状況など現場からの報告を受けたり、理事チームがイニシアチブをとっている案件について、方針の決定、進捗の報告、相互アドバイスをを行いました。また、サステナビリティに関する世界的な潮流や人脈などの情報交換も行い、理事チームの知見や活動を広げることに繋がりました。例えば、SDGsを実現するために必要能力などを「人間の内面的成長目標」として取り纏めた「IDG's」について、理事チームで情報交換やスタディを続け、それによりIDGs本部のあるスウェーデンのコアメンバーや、日本で広めている方々との交流にも繋がり、SGコンテンツとの親和性の高い世界的な潮流を今後の活動に活かす道筋を見つけることもできました※上記mtgの事業マネジメントとしては桑原康平が出席

### ●理事ミーティングで話し合われた主なテーマについては以下の通りです

- ・企業向け活動：企業向けコンテンツ開発、企業向け事例づくり、企業向けHP
- ・IDGsに関する情報交換やスタディ
- ・アースデイなどのイベントについて
- ・15周年記念の扱い方
- ・環境教育学会のプログラム設計 & 学会発表について
- ・ファンドレイズ、助成金について
- ・CCACの活動について
- ・理事改選について



# 退任理事よりメッセージ

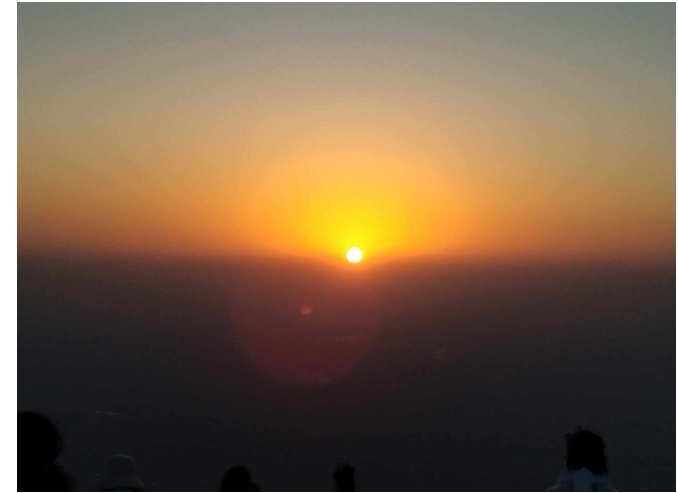


照@川田照義・セブン・ジェネレーションズ理事として  
1956年香川県生まれ、神戸市東灘区在住 2人家族(妻一人)  
チェンジ・ザ・ドリームシンポジウムのファシリテーターから  
2019年11/13(水)~12/2(月) 南米エクアドル熱帯雨林の旅に参加  
2020年2月22日(土)にセブン・ジェネレーションズ理事に就任  
持続可能なNPOを目指し仲間とプロアクティビスト創出に取組み



理事二期目の取り組みとして  
“アチュアルの夢”Web自主上映会の開催サポート、  
ブラーマクマリスさんのPeace Of Mind 2023  
瞑想の旅に参画、精神的充足の更なる実践に取組み中  
みなさん、ありがとうございます。 顔晴れ!!! v(^\_^)v

インド・ラジャスタン州 アプー山瞑想ポイント  
2023.9.30~10.10





# 事務局

## 活動内容

会計業務(入金管理、経費支払い、報酬支払い、予算決算作業)・会員管理(新規会員の登録、会員更新、入金の登録)・総務事務(メール対応、理事対応、その他)を実施しています。

## 事務局業務について

2023年度は、桑原康平(サウル)と佐藤さわ、本橋紀久子(きくこ)の3名で分担して事務局活動を行いました。

助成金の獲得により業務が増加したのに対し、事務担当者が減少したことに加え、事務局メンバーのそれぞれがSGの業務に充てられる時間が減少したことにより、前年度までに増して、適時・迅速な対応がいっそう難しい年となりましたが、代表理事野崎安澄の手を借りて、なんとか乗り切ることができました。

各事業(チェンドリ、GCI、PT、ICCAT、CCAC、コールなど)の事務の仕事については、事務局業務を一本化することを目指していましたが、そこまで進めることはできませんでした。

今後も引き続き、NPO法人組織を支える事務局体制の整備を進めていけるよう、担当人員の増員を第一課題として取り組んでいきます。

## 事業連携の促進について

2023年度は、事務局の呼びかけにより、事業連携の促進を目的として、広報チーム、各事業チーム、事務局、代表理事が、月1回のペースで連携ミーティングを行いました。ミーティングでは活発な意見交換ができ、新たな企画(チェンドリおしゃべり会やチェンドリ上映会など)にチャンレンジしました。

# ファンドレイジング



## 【デロイト・トーマツ ウェルビーイング財団 助成先に採択されました】

デロイト・トーマツウェルビーイング財団さんの第3回「コレクティブ・インパクトによる社会課題解決の推進」助成事業に「コミュニティ気候アクションリーダー育成コンソーシアム(\*)事業」で応募し、「リーディング部門」として500万円の助成をいただけることとなりました。ありがとうございます。

(\*)NPO法人セブン・ジェネレーションズ、NPO法人トランジション・ジャパン、NPO Pachamama Alliacne、Earth Wisdom Japan、シチズン・クライメート・ロビー・ジャパン、気候心理学アライアンスによるコンソーシアム

## 【SOMPO環境財団「環境保全プロジェクト助成」への応募】

様々な環境・社会問題に取り組むユースのアクティビストリーダー育成のために「つながりを取り戻すワーク」を基本とした合宿プログラムを企画し、環境教育の文脈で助成応募をしましたが、落選いたしました。

## 【地球環境基金への応募】

コミュニティ気候アクション団体のネットワーキングとDEIJ促進事業で応募しました。  
2024年3月末に結果通知予定です。





# 広報

## ブログ・SNS(Facebook/X(旧Twitter))定期的発信を行いました

2018年からスタートした [ブログ](#) と、再開した [X\(旧Twitter\)](#) ・ [FB](#) を定期的に更新し、情報発信を続けました。FBページへのフォローは現在3,517人、Xのフォロワーは711人(2024年1月現在)となっております。

また2023年は公式LINEも開設しました。まだ登録いただいていない方は [こちら](#) からぜひご登録ください。

## HPリニューアルの検討をプロボノさんのサポートをいただいて行いました

HPリニューアルをプロボノ5名の方にサポートしていただいて行いました。プロジェクトメンバーとして竹内朱美、小川愛、野崎安澄が担当。プロボノさんとのミーティングを経て、まずエントリープログラムとしてのチェンドリページのリニューアルの内容提案をいただきました。デザインとコンテンツ概要の提案をいただいたので、現在中身を制作中です。

## 新月通信

毎月新月の日にSGやコミュニティメンバーの情報を発信している新月通信。毎月NPO法人セブン・ジェネレーションズの活動を紹介する「新月通信」とコミュニティメンバーの活動を分けて紹介する「満月通信」をそれぞれ新月の日と満月の日に発行しました

2023年も引き続き高橋 安芸子(満月通信)・谷藤敏郎(新月通信)に編集送信を担っていただきました。

情報を載せたい方は [newmoon@sevengenerations.or.jp](mailto:newmoon@sevengenerations.or.jp) までご連絡ください。みなさまの情報をお待ちしています。バックナンバーは [こちら](#) から





## V. 最後に

- 寄付のお願い
- 代表理事メッセージ
- 法人概要







# 寄付のお願い

2023年度は**215,300円**のご寄付をいただきました。

各地・オンラインで開催されたチェンジ・ザ・ドリーム シンポジウムや各種プログラムにご参加されたみなさまのおかげです。

今年は初めてデロイト・トーマツ・ウェルビーイング財団様の助成・伴走を受けて、6団体によるコミュニティ気候アクションコンソーシアムを立ち上げました。気候変動の解決策に特化している団体とのネットワーク作り、また私たちコンソーシアムの強みでもある人と人の深いつながり・エンパワメントの側面を他団体のリーダーのサポートとして提供できるようつとめてまいりました。リーダーたちとのつながりの中で、私たちも現代社会のあり方や若い世代の抱える葛藤など、さまざま学ばせていただきました。

地球沸騰化の時代、それでも「地球上すべての人が、環境的に持続可能で、社会的に公正で、精神的に充足した生き方を実現」できるように、社会変革の担い手であるゲームチェンジャーを増やし、持続可能な社会の実現を目指して行きます。

私たちが本当に望む世界をともに実現していきましょう！どうぞよろしくお願いいたします。

今後の活動の広がりと継続のためにご寄付を随時受付けております。

**▼ご寄付はこちらのページからお願いします！**

<https://www.sevengenerations.or.jp/donate>





# 代表理事メッセージ

野崎安澄(あずみん)です。

2023年はみなさんにとってどんな年でしたか？

世界的には終わりの見えないウクライナとロシアの戦争、世界的に史上最も暑く長い夏、ガザ地区での抑圧・戦争など、絶望、無力感を感じずにはいられないような状況がありました。

私自身も代表理事として5年目を迎えたものの、いつも「これでよいのかな？」「これが正しい道なのだろうか」と迷いながら進んでいます。そんな中でも、NPO法人セブン・ジェネレーションズコミュニティで出会ったみんなや、コミュニティ気候アクションコンソーシアムを通してつながった団体のみなさんの諦めず進むあり方に、たくさんの勇気とエネルギーをもらいました。

そして今年は、ご縁があってインドのナブダーニャ生物多様性農場を訪れ、大々先輩で尊敬するアクティビストヴァンダナ・シヴァさんとサティッシュ・クマールさんから、ガンディの思想、地球民主主義(アースデモクラシー)について学び、2人のあり方に触れる機会を得ました。

2人だけでなく世界の仲間たちと出会い、諦めないこと、体現していくこと、自分の信念と自分自身の生き方を一致させていくことの大切さを体感しました。人生という旅路の中で、その道を歩み続けていきたいと思えます。

また今年もどうぞよろしくお願ひします！



↑ 一番右が私です



# 法人概要

## 1. 名称

特定非営利活動法人セブン・ジェネレーションズ

## 2. 成立

2011年3月15日

## 3. 事務所所在地

東京都文京区

## 4. 連絡先

メールアドレス [info@sevengenerations.or.jp](mailto:info@sevengenerations.or.jp)

## 5. 会員数(2024年1月末現在)

正会員個人 66名

賛同会員個人 69名 賛同会員団体 2団体

## 6. 役員

代表理事 野崎安澄

副代表理事 岩瀬淑乃

理事 いぬかい良成 大山裕之 川田照義

監事 桑原幸子 小寺毅

### \* 公式ホームページ

<https://www.sevengenerations.or.jp/>

### \* チェンジ・ザ・ドリーム紹介ページ

<https://sevengenerations.or.jp/course>

### \* ゲームチェンジャー・インテンシブ公式ホームページ

<https://gci-japan.com/>

### \* 公式ブログ

<https://www.sevengenerations.or.jp/blog>

### \* Facebook公式ページ

<https://www.facebook.com/7generations.jp/>

「いいね！」よろしくお願いします！

### \* X(旧Twitter)

[https://twitter.com/7generations\\_jp](https://twitter.com/7generations_jp)

フォローよろしくお願いします！！